



青き楓

島高だより 平成25年2月号

(通巻第83号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

「出会うべき場」としての島高

校長 北浦剛資



島高生の「S」は「Smile」のS。楽しくてこそその島高ライフには、その訳がある。

■「容れ物」としての島高

島高生が3年間を過ごす空間は、まるでタイムスリップ。先ず所在地は、第二応援歌の歌詞に残るが、かつては「桜馬場」と呼んでいた。今も桜の古木がそびえ、つぼみが膨らんで開花を待っている。ずっと以前は「調練場(ちょうれんば)」と称して、兵馬の訓練場所でもあったらしい。そもそも島原城三の丸に当たり、旧藩主松平家の敷地を校地として提供いただいたという事情は、秋岳台にある記念碑に詳しい。昭和23年新制高校の発足に伴い、初代国武忠男校長が揮毫した大理石の門標は右側から書かれた「長崎県立島原高等学校」、先年改修される前にはガス灯の名残の管の跡もあった。さらに、島原一小側にある裏門は、旧制島原中學校の正門として使っていたものである。昭和6年完成の本館については前に書いたが、階段の木製の手すりは当時のままであり、階段踊り場にある鏡には「昭和四年三月卒業生記念」の文字がある。車寄せのある玄関も、もう滅多に見ない。一つ一つが愛おしいこの環境に抱かれて、日々の学校生活が営まれている。

■「邂逅の場」としての島高

「人は出会うべき時に会うべき人と出会う」という言葉がある。人の世の果てしない変転の中で島高を一期一会の舞台として、師と友と、先輩や後輩と、巡り会い、別れゆく。先の格言に追加するならば、この島原高校は「出会うべき場」だったのかもしれない。私自身、14年ぶりの母校勤務は、昔と変わらぬ礼儀正しさと若者らしいさわやかさを備えた生徒たちとの出会い、情熱に燃え鋭気あふれる先生方との出会い、「チーム島高」として献身的な支援をしてくださるPTAや同窓会の皆さんとの出会い、さらに時々校長室を訪ねてくださる恩師や同級生や地域の方々との再会……。そのどれもが愛おしく大切な宝物。「人は人にまみれて人となる」の言葉をかみしめる昨今である。

3月の主な行事予定

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1日(金) 第65回卒業証書授与式 | 13日(水) 体力テスト・身体測定(2年) |
| 2日(土) 土曜講座(1・2年) | 「2013未来をつなぐ北部九州総体」に係る高校生活動(1年) |
| 4日(月) 早朝補習開始(1・2年) | 14日(木) 理数科課題研究校内発表会 |
| 5日(火) 学力検査設営 | 15日(金) 全国選抜大会壮行会 |
| 6日(水) 平成25年度公立高等学校一般入学者選抜(～7日) | 16日(土) スタディサポート(1年) |
| 生徒自宅学習(～8日) | 土曜講座(2年) |
| 8日(金) 公立中期試験(3年) | 18日(月) 高校入試合格発表 |
| 9日(土) 土曜講座(1・2年) | 19日(火) 合格者テスト・保護者同伴説明会 |
| 11日(月) 金曜日の授業 | 22日(金) 終業式・離・退任式 |
| 12日(火) 体力テスト・身体測定(1年) | 25日(月) 登校自学(1・2年 ～26日) |
| 国立後期試験(3年) | 26日(火) 全国選抜大会(剣道部 ～28日) |
| | 27日(水) 全国選抜大会(レスリング部 ～29日) |
| | 31日(日) 合唱部定期演奏会(島原文化会館) |



まゆやまロード健脚大会

体育科 荒木 雅義



勢い良くスタート



学校を出発

去る1月29日(火)に第5回まゆやまロード健脚大会が実施されました。当日の気温は厳しい冷え込みもなく、健脚を競い合うには最高のコンディションでした。生徒たちはグラウンドを元気よくスタートし、仲間と共に励まし合いながら18.7kmの長い道のりをゴール目指して一心不乱に突き進んで行きました。まゆやまロードはアップダウンが多いので、まさに「体力の限界への挑戦」という言葉がふさわしいコースですが、生徒たちは疲労困ぱいになりながらも日頃の体育の授業や運動部活動で培った体力を十分に発揮し、歩みを止めることなく最後まで頑張り抜きました。大会を終えてみると、すべての班が制限時間内にゴールすることができたことは本当に良かったと思います。生徒たちのゴールした瞬間の仲間と讃え合う姿や達成感に満ち溢れた笑顔がとても印象的な一日でした。



まだまだ元気



中間地点



いざ!後半戦へ!



班毎にゴール!



表彰式



3年生もお疲れ様!

愛情たっぷりの豚汁

教務 岡澤 達也

1月28日(月)の材料の下ごしらえから始まり翌日の大会にかけて、のべ57名の保護者の皆様のご協力のおかげでおいしい豚汁をいただくことができました。生徒たちは心のこもったおいしい豚汁に舌鼓を打ち、疲れを癒すことができました。保護者の皆様ありがとうございました。



下ごしらえ中



校長先生も一緒に



調理開始



おいしそう!



生徒も満足

部活動実績

レスリング部

平成24年度 第48回九州高等学校レスリング新人選手権大会

- 団体 第3位
- 個人
- 50kg級 **優勝** 岡田 幹大
 - 55kg級 **優勝** 伊藤 奨
 - 55kg級 3位 佐藤 輝翔
 - 60kg級 3位 永石 洸
 - 66kg級 5位 本多 正龍
 - 84kg級 3位 喜多 健

理学部

平成24年度 九州高等学校生徒理科研究発表大会
地学部門 優良賞

剣道部

平成24年度 九州高等学校選抜剣道大会

- 女子団体 **優勝**
- 男子団体 3位
- 優秀選手賞 男子 上村 貴弥
女子 進藤 暖佳

合唱部

第19回ヴォーカル・アンサンブル・フェスティバル

- 活水学院 院長賞
- フェスティバル賞



「理数科」地学セミナー

最終回

地学講座

理科主任 松本 優一

理数科1年生で取り組んできた寺井邦久先生による地学セミナーが終了しました。2月13日（水）の最終回では発表会を行いました。40人全員が一人ずつ、これまでの講義・実習で学んだことをまとめ、2分間でプレゼンテーションを行いました。旧大野木場小学校、砂防ダム、雲仙地獄、平成新山、布津断層など、巡検で見学したスポットを簡潔に紹介してくれました。

今まで何気なく眺めていた風景が、生徒たちの中で違った意味をもつようになった1年間でした。この講座を通して、故郷である島原半島について深く知ることができただろうと思います。



普賢岳土石流跡



研究成果を発表



寺井先生から1年を通しての評価



雲仙百年の森づくり 記念植樹

平成2年11月から始まった雲仙普賢岳の噴火活動によって大きな被害を受けた普賢岳周辺の森を甦らせるため、雲仙100年の森づくり活動が行われています。

毎年恒例となったこの行事に、本校3年生の進路決定者が参加し、卒業記念植樹を行いました。寒空の下、ふるさとの自然のために一生懸命苗木を植えた生徒たち。

数年後には、大きく成長した樹木が見られることでしょう。



大きく育ちますように！



国公立前期試験

3学年 木原 加奈子

2月25日（月）、国公立大学前期日程試験が行われました。多くの受験生は前日に各地へ向かい、当日は緊張した面もちで試験会場へと向かいました。

センター試験から約1ヶ月間、必死に二次対策をしてきた成果をこの試験で発揮できたでしょうか？

3月上旬に前期日程試験の合格発表があり、3月半ばには後期日程試験が控えています。最後まで気を抜かず合格を勝ちとりましょう。頑張れ、65回生！



「2013 長崎しおかぜ総文祭」自然科学部門 プレ大会開催



高文連理科専門部専門委員長 片山 泰成

2月10・11日の2日間に渡り「九州高等学校生徒理科研究発表大会」が島原文化会館で開催されました。この大会は、今年8月に開催される「2013 長崎しおかぜ総文祭」自然科学部門のプレ大会を兼ねており、本番ながらの雰囲気でした。大会には九州各県の予選を勝ち抜いてきた、全65校（100チーム）、約400名の高校生が参加し、日頃の研究の成果を発表しました。さすがに各県の代表ということでどの発表も素晴らしく、参加者にとってとても刺激的な大会でした。

この大会は「高校生による高校生のための大会」を目的とし、開会式の司会をはじめとする大会のほとんどを高校生スタッフによって運営しました。県内の理科部の生徒や、島原半島内の全ての高校から選出されたスタッフが、立派にその役割を果たしてくれました。県外の参加者からも「高校生が前面に出ていて良かった」「長崎県の高校生がとても爽やかに親切に対応してくれました」というお褒めの言葉を数多くいただきました。

全国大会の運営も更に頑張ってくれることでしょう。

全国大会も見に来てね！



生徒実行委員長あいさつ



島原の紹介



研究発表の様子



ポスター発表の様子

お知らせ

部活動再編成について

生徒会指導部主任 谷口 英次

本校は平成25年度に全学年6クラスとなります。生徒数も職員数も年々減少している中、部活動の数は全学年9クラスだった平成6年度から変わっていません。予算の面や部員の確保、顧問の配置などを考えても、学校の規模にあった部活動数に再編成することが急務となっています。

そこで、職員で協議し次のように再編成を行うことにしました。

【第1段階の編成】

平成25年度から次の3つを実施します。

- (1) 生物部を理学部に統合します。(2) 弁論部を募集停止とします。
- (3) 水泳部を募集停止とします。

【第2段階の編成】

平成25年度から3年間で、部員数の増減を見ながら次のルールで再編成を実施します。

次の条件を満たさない部は、部員募集停止の対象とします。ただし、生徒会直轄部は除きます。

ア 体育部について、1・2年生の部員数が6名以上いること。さらに、団体種目のみの部についてはチーム編成に支障のない人数がいること。

イ 文化部について、1・2年生の部員数が活動に支障のない人数であること。

部員数の調査は毎年度9月末に実施します。

部活動を今後も維持・運営していくために、どうしても必要な再編成ですので、生徒の皆さん並びに保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。